

小規模企業景気動向調査

[平成16年11月期調査]

景気回復には未だ程遠い小規模景況

平成16年12月9日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象:全国約300商工会の経営指導員

調査時点:平成16年11月末

調査方法:対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体>

11月の小規模企業景気動向調査によると、産業全体のD.I.(景気動向指数・前年同月比)は、売上額がマイナス16.4(前月比マイナス1.6ポイント)、採算がマイナス22.4(同マイナス1.2ポイント)、資金繰りがマイナス21.3(同マイナス3.7ポイント)、業況がマイナス25.1(同マイナス2.9ポイント)となり、全ての項目で悪化した。製造業は原油価格高騰等により厳しい状況が続いており、建設業は需要低迷で深刻な状況という回答が多く、小売業及びサービス業では災害・天候不良の影響により悪化傾向が強まった。今月期は、建設業の完成工事額を除く全ての項目で悪化しており、悪化傾向が強まった調査結果となった。

<製造業>

製造業については、売上額がプラス0.0(前月比マイナス0.8ポイント)、採算がマイナス14.4(同マイナス0.8ポイント)、資金繰りがマイナス14.6(同マイナス4.6ポイント)、業況がマイナス12.2(同マイナス1.8ポイント)となった。鉄工関連の製造業など一部の業種で回復の兆しが見られるとの回答があったものの、原油価格や原材料の高騰が続いているため苦戦を強いられているとの回答が多く、全ての項目で悪化した。

<建設業>

建設業については、完成工事額がマイナス22.2(前月比プラス1.7ポイント)、採算がマイナス31.5(同マイナス0.7ポイント)、資金繰りがマイナス31.8(同マイナス5.3ポイント)、業況がマイナス34.7(同マイナス0.6ポイント)となった。一部の地域では災害復旧工事で持ち直しているという回答が見られたものの、官需・民需ともに冷え込んでいるため資金繰りに苦慮しているなど依然として厳しい状況にあるとの回答が多く、前月から一転、売上額以外の項目は悪化した。

<小売業>

小売業については、売上額がマイナス23.6(前月比マイナス5.2ポイント)、採算がマイナス25.5(同マイナス0.5ポイント)、資金繰りがマイナス24.4(同マイナス3.8ポイント)、業況がマイナス29.4(同マイナス2.3ポイント)となった。食料品小売業は天候不良による野菜等の高騰が原因で売上が大きく落ち込んでおり、衣料品小売業は好天候の影響で秋冬物の売れ行きが悪いとの回答が多く、全ての項目で悪化した。

<サービス業>

サービス業については、売上額がマイナス20.1(前月比マイナス2.6ポイント)、採算がマイナス18.2(同マイナス2.8ポイント)、資金繰りがマイナス14.4(同マイナス1.4ポイント)、業況がマイナス23.8(同マイナス6.8ポイント)となった。旅館業は一部の地域で観光客が増加し好転したとの回答が見られたものの、台風や新潟県中越地震の影響で宿泊予約のキャンセルが相次ぐなど災害や天候不順の影響を大きく受けているとの回答が多く、全ての項目で悪化した。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比
売上額	14.8	16.4	1.6	0.8	0.0	0.8	23.9	22.2	1.7
採算	21.2	22.4	1.2	13.6	14.4	0.8	30.8	31.5	0.7
資金繰り	17.6	21.3	3.7	10.0	14.6	4.6	26.5	31.8	5.3
業況	22.2	25.1	2.9	10.4	12.2	1.8	34.1	34.7	0.6

業種	小売業			サービス業		
	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比
売上額	18.4	23.6	5.2	17.5	20.1	2.6
採算	25.0	25.5	0.5	15.4	18.2	2.8
資金繰り	20.6	24.4	3.8	13.0	14.4	1.4
業況	27.1	29.4	2.3	17.0	23.8	6.8

注)D.I.(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

問い合わせ先:振興部 振興課 渡部 TEL:03-3503-1256(直通)

E-mail: ml-sinkou@shokokai.or.jp